

(15) 予算・実績比較による分析(計画・見込)

SHINはコストフローに「計画」「実績」「見込」の3種類のディメンジョンを持っています。ディメンジョン(次元)とは、原価計算データの目的の違いによる3形態です。

計画 : 年間の製品別販売予算と財務予算を元に、計画原価計算を行い、実績の原価集計に近い形の計画・予算データでコストフローを表現します。

実績 : 通常行う月次決算用の実績原価集計です。

見込 : 経過年月は「実績」データで、それ以降に関しては「計画」データでコストフローを表現します。

「計画」「見込」のも元データの入力と原価計算は、TOPメニューの「試す」ボタンから行います。実行結果はコストフローの右下端にあるディメンジョン切替ボタンで切り替えると、コストフローの数値が切り替わります。

“材料費を5%上げる”“この製品群の販売単価を2%下げる”等のシミュレーションも可能ですので、何度も実行結果をコストフローで比較できます。

又、「計画」「見込」の実行結果は、コストフローだけでなく、分析シートに入っても、「実績」データと同様に扱えますので、計画・実績比較や計画・見込比較等が行え、具体的な計画修正ができます。

ディメンジョン

計画

実績

見込





【2. 予算原価集計(標準)】

各予算設定のみでは原価データベースには反映されない。シミュレーション結果を反映させるためには「予算原価集計」を実行する

原価データベース



見る

X

GenkaSys.xlsm - Excel

【1. 予算シートの登録】

各予算設定のみでは原価データベースには反映されない。シミュレーション結果を反映させるためには「予算原価集計」を実行する

予算データ登録

戻る

① 科目予算

入力・コピー

①科目別予算: 会計システムの勘定科目別を部門別・月別にexcel等で作成

② 販売予算

入力・コピー

②販売予算: 製品別(商品・材料含)・得意先別・部門別で月別に販売単価と販売数量をexcel等で作成

③ 在庫予算

入力・コピー

③在庫予算: 製品(商品・材料含)別・部門別で月別に在庫数量をexcel等で作成*1

④ 期首在庫予算

入力・コピー

④期首在庫予算: 製品(商品・材料含)別・部門別に期首在庫数量をexcel等で作成*2

⑤ 生産予算自動作成

入力・コピー

⑤生産予算:

*1現在は仕掛品在庫予算は登録できない(毎月増減数量は0と見做す)

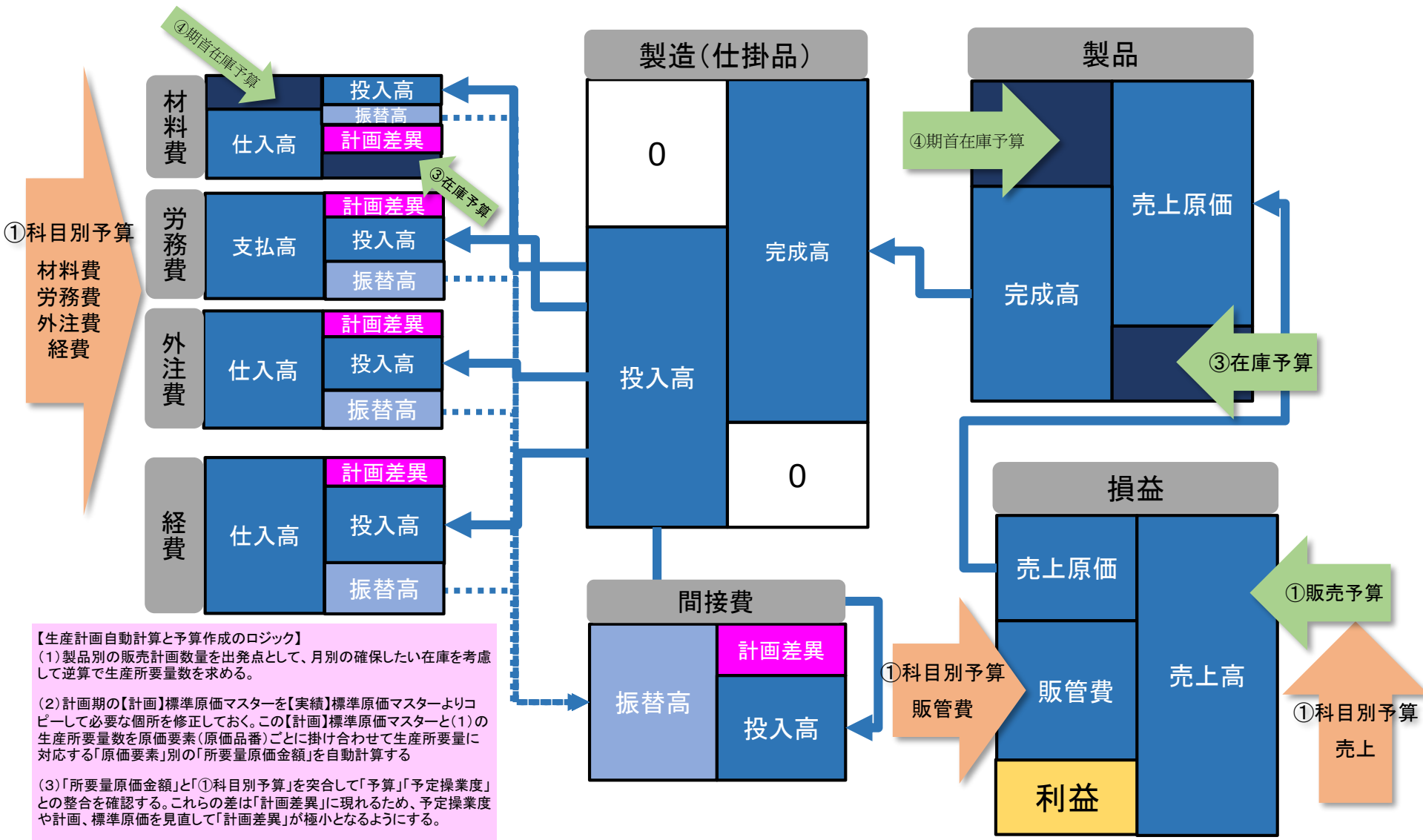
*2予算作成時点では期首在庫が確定していないはずなので④では確定前の在庫数量を計画数値で登録できる。確定後確定値に置換えて再計算ができる。

【3. 計画データの見方②】

「分析シート」に入ってからでも「実績」「計画」「見込」の“単価”“数量”“金額”を同時に比較表示できる

【3. 計画データの見方①】

ここを「実績」⇒「計画」⇒「見込」と切り替えることによってコストフローに表示されるモードが変化する



シミュレーション

戻る

- ① 科目予算一括変更
- ② 販売予算一括変更
- ③ 在庫予算一括変更
- ④ 材料単価一括変更
- ⑤ 標準原価数量一括変更
- ⑥ 工程歩留一括変更

計画一括変更<科目予算> - SHIN

計画一括変更<科目予算>

LOGIN : システム共通担当

年度

2015

期陸

2015/11

~

2015/11

最終取込迄 : 2015/11

部署

~

科目

~

月額金額

固定値

円

☒ 0円は更新しない

増減率

%

一括変換実行

閉じる

原価データベース

(計画)

(実績)

(見込)

見る

【2. シミュレーション項目繁栄のための予算原価集計(標準)】

シミュレーション項目設定のみでは原価データベースには反映されない。シミュレーション結果を反映させるためには「予算原価集計」を実行する

【3. 計画データの見方①】

ここを「実績」⇒「計画」⇒「見込」と切り替えることによってコストフローに表示されるモードが変化する

【3. 計画データの見方②】

「分析シート」に入ってからでも
「実績」「計画」「見込」の「単
価」「数量」「金額」を同時に比較
表示できる

【「計画」データと「見込」データ】

